ボーリング柱状図

調　査　名	二級河川黒瀬川水系正力川砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	二級河川　黒瀬川水系　正力川砂防激甚災害対策特別緊急事業

ボーリングNo 1

シートNo 1

ボーリング名	BorNo.1	調査位置	広島県東広島市八本松町正力　地内			北緯	34° 27’ 50.61”
発注機関	広島県　西部建設事務所　東広島支所			調査期間	令和 2年 12月 7日 ～ 2年 12月 7日	東経	132° 42’ 52.91”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=273.91m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 11°	使用機種	
総掘進長	7.00m					試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動落下型
						エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	272.66	1.25	1.25		砂	褐			粗粒主体の砂。所々に径20mmまでの亜角礫を混入する。
2 3	270.41	2.25	3.50		粘土混り砂	灰			粘土分を含む、中粒～粗粒主体の砂。全体に飽和状態にあり、非常にゆるい。所々に細礫や径30mmまでの亜角礫を混入する。礫の含有量は少ない。下方付近では、有機物片を混入する。
4	269.91	0.50	4.00		花崗岩・風化土	暗褐			岩級区分のDL級に相当する、強風化花崗岩。コアは土砂の柱状で採取され、指圧にてマサ状に崩れる。所々に節理痕が確認できる。岩構造は明瞭である。
5 6 7	266.91	3.00	7.00		花崗岩・軟岩	赤褐～明黄褐～褐			岩級区分のDI級に相当する、風化花崗岩。コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。雲母は黄金色化しているが、鉱物間の結束は非常に密である。岩構造は上層同様に明瞭である。

孔内水位(m)／測定月日 12/7 0.39

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1/25		2/6	3/31	3
1.46 2.15	1/20		1/25	2/45	1
2.60 3.15	1	1/28		2/38	2
3.53 4.15	17	20	13/4	50/24	63
4.39 5.05	19	31/6		50/16	94
5.21 6.00	17	21	12/4	50/24	63
6.24 7.00	27	23/4		50/14	107
7.14					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				12/7